

2023年度事業計画

1. 研究発表会・セミナー・公開講演会等の開催

(1) 研究発表会

- 1) 本部: 第75 回大会を開催する。5 月26～28 日、関東支部
東京家政大学を会場として開催する。

- 2) 支部: 研究発表会、卒業論文・修士論文発表会等を開催する。

東北・北海道支部	9 月23 日 ^{*1}
関東支部	2 月中旬
中部支部	9 月9 日、2 月4 日
関西支部	10 月14 日
中国・四国支部	10 月15 日
九州支部	10 月14～15 日

*1: オンライン開催とする。

- 3) 部会: 研究発表会を開催する。

家政学原論部会	8 月21・22 日 ^{*1}
生活経営学部会	8 月24 日 ^{*2}
家族関係学部会	10 月28・29 日 ^{*1}
食文化研究部会	月例会7 回、研究大会11 月
服飾史・服飾美学部会	3 月

*1: 対面及びオンラインのハイブリッド方式による開催とする。

*2: オンライン開催とする。

(2) セミナー

- 1) 本部: 第6回家政学夏季セミナーを開催する。 9 月3 日(日)～5 日(火)、島根県大田市(石見銀山地区)にて開催予定。

- 2) 部会:

家政学原論部会	8 月21・22 日
被服衛生学部会	8 月23・24 日
被服心理学部会	8 月29 日 ^{*1} 、2 月下旬 ^{*1}
色彩・意匠学部会	9 月6・7 日
家政教育部会	8 月23・24 日、3 月下旬

*1: オンライン開催とする。

(3) 公開講演会・シンポジウム等

- 1) 本部: 第75 回大会時に開催する。(5 月27・28 日)

シンポジウム「家政学の発展と社会貢献」、教育講演、家庭生活アドバイザー認定証交付式・活動報告会・国際交流委員会
セミナー・若手の会交流会・ランチョンセミナー等を東京家政大学を会場として開催する。

- 2) 支部: 公開講演会を開催する。

東北・北海道支部	9 月23 日 ^{*1}
関東支部	4 月22 日、9 月～10 月頃
中部支部	9 月9 日
関西支部	4 月22 日
中国・四国支部	10 月14 日
九州支部	10 月14～15 日

*1: オンライン開催とする。

- 3) 部会: 公開講演会を開催する。

家政学原論部会	8 月21・22 日
生活経営学部会	8 月24 日 ^{*2}
家族関係学部会	10 月28 日 ^{*1}
食文化研究部会	11 月
被服構成学部会	2 月下旬～3 月上旬 ^{*2}
被服衛生学部会	11 月～3 月上旬 ^{*2}
色彩・意匠学部会	2 月下旬～3 月上旬
服飾史・服飾美学部会	3 月
家政教育部会	8 月下旬

住居学部会	10月～12月 ^{*1}
^{*1} : 対面及びオンラインのハイブリッド方式による開催とする。 ^{*2} : オンライン開催とする。	

大会企画を開催する。

児童学部会	5月27日 ^{*1}
食品組織部会	5月27日
住居学部会	5月28日
服飾史・服飾美学部会	5月28日
被服整理学部会	5月28日

^{*1}: オンライン開催とする。

- 4) 若手の会: ①第75回大会時に講演会を開催する。
②若手の会で学術交流セミナー(12月未定)を開催する。
③若手の会で活動活性化セミナー(2月未定)を開催する。

2. 学会誌・その他の図書の刊行

(1) 本部:

- 1) 学会誌: 「日本家政学会誌」74巻4号～12号及び75巻1号～3号(12回)を各2,500部発行するとともにJ-STAGE上で公開する。
2) 大会要旨集: 第75回大会研究発表要旨集を5月に900部発行するとともに、J-STAGE上で公開する。さらに大会ウェブサイトをアーカイブ化する。
3) 家政学夏季セミナー要旨集: 第6回家政学夏季セミナー講演要旨集を8月に150部発行する。

(2) 支部: 以下の要旨集等を刊行する。(データ送信含む。)

東北・北海道支部	「2023年度第66回研究発表会要旨集」
関東支部	「第26回家政学関連卒業論文・修士論文発表会要旨集」
中部支部	「第67回(2023年度)大会要旨集」 「第24回家政学関連院生・学生研究発表会要旨集」
関西支部	「2023(令和5)年度研究発表会要旨集」
中国・四国支部	「第69回(2023)研究発表会・研究発表要旨集」
九州支部	「2023年度(第67回)研究発表要旨集」

(3) 部会: 以下の部会誌・研究誌、セミナー要旨集等を刊行する。

家政学原論部会	「家政学原論研究」No.57(J-STAGE上に公開) 「2023年家政学原論部会夏期セミナー発表要旨集」
生活経営学部会	「生活経営学研究」 「生活経営学部会夏期セミナー報告要旨集」
家族関係学部会	「家族関係学」(機関誌発行とJ-STAGE公開) 「家族関係学セミナー 公開シンポジウム・自由報告要旨集」 「家族関係学部会ニュースレター」 「家族関係学部会メールマガジン」
児童学部会	「児童学研究」
食品組織部会	「食品組織部会会報」
食文化研究部会	「会誌食文化研究」
被服材料学部会	「被服材料学部会会報」
被服構成学部会	「被服構成学部会誌」
被服衛生学部会	「被服衛生学」 「被服衛生学部会セミナー要旨集」 「被服衛生学部会公開講演会要旨集」
被服心理学部会	「被服心理学部会夏季セミナー要旨集」 「被服心理学部会春季セミナー要旨集」
色彩・意匠学部会	「色彩・意匠学部会会報」 「色彩・意匠学部会夏季セミナー 公開講演会要旨集」 「色彩・意匠学部会春季セミナー 公開講演会要旨集」

服飾史・服飾美学部会	「服飾史・服飾美学部会報」
家政教育部会	「家政教育部会ニュースレター」

(4) 若手の会: 学術交流セミナー要旨集を刊行する。(データ送信する。)

3. 研究及び調査の実施

(1) 支部: 関東支部において、若手の会勉強会、講習会・交流会を実施する。
中部支部において若手の会勉強会、研究活動を実施する。

(2) 部会: 研究会、調査等を実施する。

家政学原論部会	被服構成学部会
色彩・意匠学部会	服飾史・服飾美学部会
住居学部会	家政教育部会

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰

(1) 本部:

- 1) 2023 年度日本家政学会賞(学会賞、奨励賞、功労賞)として表彰する。
- 2) 活動助成として支部・部会等の企画に助成をする。
- 3) 支部活動活性化サポートとして支部の企画に助成をする。
- 4) 第 75 回大会活性化のための部会企画に助成をする。
- 5) 大会時に、「若手研究者ポスター賞」の表彰事業を行う。

(2) 支部:

1) 東北・北海道支部:

- ① 若手研究者に研究助成金を支給する。
- ② 研究発表会において学生の優秀な口頭発表を表彰する。

2) 関東支部:

- ① 家政学関連卒業論文・修士論文発表会を行う。

3) 中部支部:

- ① 若手の会の活動に奨励金を支給する。
- ② 日本家政学会誌に優れた論文が掲載された若手研究者に中部支部論文奨励賞を授与する。
- ③ 優れた若手支部大会発表者に中部支部大会発表奨励賞を授与する。
- ④ 優れた家政学関連院生・学生研究発表会発表者に中部支部院生・学生発表奨励賞を授与する。

4) 関西支部:

- ① 若手研究者に若手優秀発表賞を授与する。

5) 中国・四国支部:

- ① 若手研究者に支部賞を授与する。
- ② 支部大会にて優れた研究発表を行った支部会員に対して、優秀研究発表賞を授与する。

6) 九州支部:

- ① 若手研究者に支部賞を授与する。

(3) 部会:

- 1) 家政学原論部会: 常見研究奨励賞、亀高学術出版賞を授与する。各地区に研究活動費を補助する。
- 2) 生活経営学部会: 研究会、各地区会、若手の会に、研究活動費を補助する。
- 3) 食文化研究部会: 石川松太郎食文化研究奨励賞を授与する。
- 4) 被服構成学部会: 全国中学生創造ものづくり教育フェアで被服構成学部会賞及び奨励賞を授与する。

5. 家庭生活アドバイザー資格認定事業

- 1)家庭生活アドバイザー資格認定規程に基づき、家庭生活アドバイザー資格認定事業を行う。
- 2)家庭生活アドバイザー資格取得者対象の更新講習会や活動報告会を行う。
- 3)自治体や各種団体との連携をおこない、家庭生活に関する一般の人達向けの講座を開催する。
- 4)家庭生活アドバイザーの資格認定対象の拡大の検討と広報活動を行う。

6. 内外の関連学協会等との連携及び協力

(1) 本部:

- 1)国際交流委員会:国際家政学会(IFHE)・アジア地区家政学会(ARAHE)の組織や大会に関する広報、IFHE、ARAHE との連携活動、メルマガ、国際交流委員会 HP での情報発信等の活動を行う。
- 2)関連学会との交流:日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分科会及び関連学会と連携して、生活科学系コンソーシアムへの活動を推進する。
- 3)学協会関係:生活科学系コンソーシアムのメンバーとして、(一社)日本調理科学会、(一社)日本繊維製品消費科学会、日本家庭科教育学会他の関連学協会との事業の共催、情報の交換等を行う。
- 4)公益信託家政学研究助成基金の研究助成を若手学会員に広報し、応募を促す。
- 5)生活やものづくりの学びネットワーク:関連学協会と連携して、生活やものづくりの学びネットワーク公開フォーラム、春の学習交流会の開催、年に2回の会報「生活やものづくりの学びネットニュース」を刊行する。

7. その他の目的を達成するために必要な事業

- (1)総務委員会:会員数の拡大について、会員サービスの充実と併せ、本部、支部、部会の諸事業との連携により取り組む。
- (2)財務委員会:家政学の活性化と学会財政の健全化を図る。
- (3)企画・広報委員会:学会の活性化と広報の充実化に取り組む。
- (4)情報管理委員会:
 - 1)ホームページの安定した維持管理、運営を行うとともに、掲載内容の充実を図る。
 - 2)ホームページの更新は毎月2回とする。
 - 3)メールマガジン配信の依頼記事は迅速な配信に努める。
 - 4)情報発信のため、部会活動等の「動画配信」を行う。
- (5)編集委員会:投稿数増加と、より一層の学会誌の充実化に取り組む。
- (6)日本家政学会のSDGsポジション・ステートメント特別委員会:「日本家政学会のポジション・ステートメント」の成案を公表する。

8. 本部、支部及び部会の総会等の開催

(1) 総会

- 1)本部: 2023 年度代議員総会、5月27日、東京家政大学。

2) 支部:

通常総会	東北・北海道支部*1	関東支部*2	中部支部
	関西支部	中国・四国支部*2	九州支部
臨時総会	関東支部*2		

*1:書面により開催する。

*2:web 開催とする。

3) 部会:

通常総会	家政学原論部会	生活経営学部会*1	家族関係学部会*4	児童学部会
	食品組織部会*2	食文化研究部会*1	被服材料学部会	被服整理学部会
	被服構成学部会*1	被服衛生学部会	被服心理学部会*2	色彩・意匠学部会
	服飾史・服飾美学部会	家政教育部会*2	住居学部会*3	

*1:web 会議とする。

- *2: メール審議とする。
- *3: オンライン及び書面による開催とする。
- *4: 対面及びオンラインのハイブリッド方式による開催とする。

(2) 理事会、役員会等の開催

1) 本部: 理事会4回、会長副会長会8回

2) 支部:

東北・北海道支部	支部役員会3回(メール審議)
関東支部	支部役員会5回
中部支部	支部役員会3回、支部役員連絡会2回
関西支部	支部役員会5回
中国・四国支部	支部常任幹事会1回、支部機関幹事会1回
九州支部	支部役員会3回

3) 部会:

家政学原論部会	常任委員会15回、新旧役員会1回
生活経営学部会	常任委員会7回、部会役員会1回
家族関係学部会	部会役員会2回
児童学部会	4回(メール審議2回, web会議2回)
食品組織部会	部会役員会1回
食文化研究部会	部会役員会10回
被服材料学部会	部会幹事会2回
被服整理学部会	2回
被服構成学部会	3回
被服衛生学部会	部会役員会3回
被服心理学部会	2回
色彩・意匠学部会	3回
服飾史・服飾美学部会	部会役員会3回
住居学部会	1回(web会議)
家政教育部会	2回

4) 若手の会: 幹事会1回

(3) 各種委員会の開催

1) 本部:

総務委員会	4回
財務委員会	1回
企画・広報委員会	1回
国際交流委員会	3回
編集委員会	4回
研究発表審査委員会	1回
刊行委員会	1回
学会賞選考委員会	3回
功労賞推薦委員会	2回
名誉会員審査委員会	2回
家政学セミナー実行委員会	6回
家庭生活アドバイザー資格認定委員会	6回
日本家政学会のSDGsポジション・ステートメント特別委員会	1回

2) 支部:

東北・北海道支部	支部選挙管理委員会3回、支部若手研究助成選考委員会1回(書面審査)、支部学生表彰選考委員会1回(書面審査)
関東支部	選挙管理委員会4回、若手の会幹事会2回
中部支部	若手の会ミーティング2～3回、中部支部奨励賞選考委員会3回
関西支部	選挙管理委員会3回、若手の会幹事会3回
中国・四国支部	支部賞選考委員会1回、優秀研究発表賞選考委員会1回
九州支部	支部賞選考委員会2回

3) 部会:

家政学原論部会	編集委員会5回、選挙管理委員会2回、常見研究奨励賞選考委員会2回、
---------	-----------------------------------

	亀高学術出版賞選考委員会2回
家族関係学部会	編集委員会、セミナー実行委員会他10回
児童学部会	会誌編集委員会等につき随時メール及びweb会議
食品組織部会	大会企画実行委員会2回、出版企画委員会3回
食文化研究部会	会誌編集委員会8回、奨励賞選考委員会3回、文献目録検討委員会12回
被服材料学部会	会誌編集委員会、セミナー企画委員会他3回
被服整理学部会	大会企画実行委員会1回
被服構成学部会	企画委員会1回
被服衛生学部会	セミナー実行委員会4回、企画委員会3回
被服心理学部会	セミナー実行委員会他随時メール及びweb会議
色彩・意匠学部会	セミナー実行委員会他随時メール審議
服飾史・服飾美学部会	企画委員会他3回
住居学部会	随時メール審議
家政教育部会	セミナー実行委員会他3回(web会議)、冊子編集委員会4回(web会議)